PICK UP!!

職員の推し本（お）





老いるショック大賞
みうら　じゅん 編 ／ 筑摩書房

先日節目の年齢を迎えました。人生の諸先輩方から見ればまだまだ若輩者…と言いたいところなのですが、じわじわと年齢を感じずにはいられないことも増えた気が。そんな誰しも感じることがあるだろう“老いのショック”を集めた本がこちら。「買い物を忘れないようにメモを取ったのに、そのメモを持っていくのを忘れる」なんてのは序の口、「左右別々の靴を履いて出かけた」「車で出かけたのに車を置いて歩いて帰った」など、くすっと笑えてちょっと身につまされる（？）エピソードがずらり。みうらじゅんさんのゆるーいコメントも相まって、自分だけじゃないんだなと心強くもあり、年を取るのが怖くなくなる？一冊です。

虹いろ図書館のへびおとこ
櫻井　とりお ／ 河出書房新社

小６の火村ほのかはいじめがきっかけで学校に行けなくなり、日中の時間を図書館で過ごすことになります。
カラフルな表紙と謎めいた題名でイメージしたのは「不思議な図書館に迷い込んだ女の子の冒険譚？」。そんなファンタジックな想像をいい意味で通り越して、本を通してのほのかの成長が、ゆっくり丁寧に描かれます。
１冊読んで続きが気になって全６巻、あっという間に読みました。各巻もそれぞれ面白いですが、続けて読むと「ここは前の巻のこのシーンだ！」という箇所がいっぱいで、もう一度最初から読み返したくなりました。
装丁もおしゃれで、最後のページまで楽しめます！









あの日のチョコレート～スキートな5つの欠片～
江國　香織 他 ／ 白泉社

表紙がもう明治ミルクチョコレートそのもの！思わず手に取ってしまいました。
銀紙をはがしてパキッと割って、家族や友だちと分け合ったり、ひとり占めして食べてしまったり…表紙を見るだけで、懐かしい子どもの頃を思い出します。
心温まるお話から切ないお話まで、チョコレートにまつわる5つの物語を味わえるこちらの１冊。ページをめくるたび、チョコレートのように甘くてほろ苦い記憶、優しい気持ちをそっと呼び起こしてくれます。
チョコレートを傍らに、皆さんも思い出のひとかけらを探してみてくださいね♪